海外安全対策情報（２０２６年７月～９月）

在ベネズエラ日本国大使館

１　社会・治安情勢

６月２４日に発生した大地震によって、ラ・グアイラ州を中心に大きな被害が出ました。被災直後は倒壊した家屋や店舗での窃盗や略奪等が発生していたものの、現在は震災関連の犯罪は減少しています。

電気や水といったインフラ整備の不足に対するデモや、賃金上昇を求める組合によるデモや集会が全国的に増加しています。その中で、興奮した一部のデモ参加者と治安機関との間で小規模な衝突の発生が確認されています。最新の情報を収集し、こうしたデモが発生している場所には近づくことが無いように注意して下さい。

２　一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

当地治安当局によれば、２０２６年７月～９月の全国の犯罪発生件数は前年同期比で約６%減少しました。全国的に殺人や強盗といった凶悪犯罪は引き続き減少していますが、インターネットショッピングを悪用した詐欺事件やフィッシング詐欺事件の増加が継続しています。

（２）各論

ＳＮＳ上で、治安機関の偽アカウントから「あなたに対する逮捕状が出ている」とし、偽の逮捕状の画像を送りつけ、解決金名目で金銭を要求するような事件が発生しています。当局は「バーチャル恐喝事件」として被害に遭わないよう注意喚起を行っています。

（３）邦人等の被害事案

なし。

３　薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、８月に就任したコロンビアの新大統領の治安対策として、ベネズエラとの国境地域の民族解放軍（ＥＬＮ）の活動圏でドローンを使用した爆撃等が行われ、その報復として国境周辺の町の警察署が爆破されるといった事件が発生しました。引き続き、コロンビアとの国境付近の治安状況には特段の注意を払って下さい。

カラカスのリベルタドール市エル・バジェ地区で、治安機関による犯罪組織に対する取り締まりの際に銃撃戦に発展し、当局側に死者が出たとの報道があります。今後も、こうした犯罪組織に対する取り締まりが行われると見られるので、外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

４　誘拐・強盗事件発生状況

統計上、７月～９月の間に誘拐事件は発生しませんでした。

比較的安全とされているチャカオ市内であっても、最近は携帯電話を対象とする窃盗や強盗が多数発生しています。窃盗の被害に遭った際に抵抗したことで、犯人から暴行を受けて強盗事件に発展するケースや、ナイフや拳銃を使用した強盗事件も発生しています。万が一被害に遭っても、抵抗したり犯人を捕まえようとはしないようにしてください。誘拐や強盗の被害に遭わないよう、周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。